

管 財 課 長
企 画 課 長 殿
都市整備課長
地域政策課長

オンライン参加可能

一般社団法人 日本経営協会
理事長 引野 隆志

NOMA行政管理講座開催(ご案内)／自治体経営・政策・戦略・企画講座

地方自治体に求められる公共施設マネジメントの実践

～公共施設マネジメントの未来のために今からやるべきこと～

<令和7年10月14日(火)・15日(水)>

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本会の事業活動には平素より格別なご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

地方自治体においては、「人口減少」「少子高齢化」それに伴うDX推進等の様々な現状を受け、今後の施設維持管理の解決策について考えなければなりません。

同時に、公共施設の効率性や縦割りの推進ばかりではなく、自治体や地域間の横連携、有効活用のための複合化や再配置の取り組み、災害時の避難場所の再検討といった課題も含め、住民視点や協働等による施設のあり方、さらに将来的にも持続可能な公共施設のあり方等、「新たなまちづくり」との連動の視点が必要となって参ります。

そこで、今後の公共施設マネジメントの具体的な実践方策と新たなまちづくりの方向性について、様々な具体的な事例を交えて講義を行い、参加者のみなさまと現状の把握や課題悩みについて意見交換を通して共有していきます。

ご多忙の折とは存じますが、この機会に多数のご参加をおすすめ申し上げます。

敬 具

記

(12:30から受付)

日 時：令和7年10月14日(火) 13:00～17:00
10月15日(水) 10:00～16:00

講 師：特定非営利活動法人
リデザインマネジメント研究所 池澤 龍三氏
(元佐倉市職員・一級建築士)
前橋工科大学 工学部建築学科 堤 洋樹氏
准教授

参加方法：[会場参加] 日本経営協会内専用教室
(東京都渋谷区千駄ヶ谷5-31-11
住友不動産新宿南口ビル13階)
[オンライン参加] ZoomによるLive配信

参 加 料：会員(1名) 36,300円(税込)
(負担金) 一般(1名) 39,600円(税込)

申込方法：本会ホームページから講座名を検索していただき、お申込みください。

- ※令和6年度より、FAXでのお申込みは廃止いたしました。
- ・講座開催日の約1か月前より順次、参加券および請求書をご連絡担当者宛にお送りいたします。
- ・開催3営業日前までに参加券が届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。
- ・お申込みは5営業日前までお願いいたします。
- ・定員になり次第締め切らせていただきます。受付状況は、本会ホームページからご確認ください。

キャンセル：お申込み後、キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。

会場参加の場合、開催日の3営業日前～前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセル・ご欠席は100%をキャンセル料として申し受けます。オンライン参加の場合は、開催日の5営業日前～当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。

そ の 他：参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

〇オンライン参加での留意事項

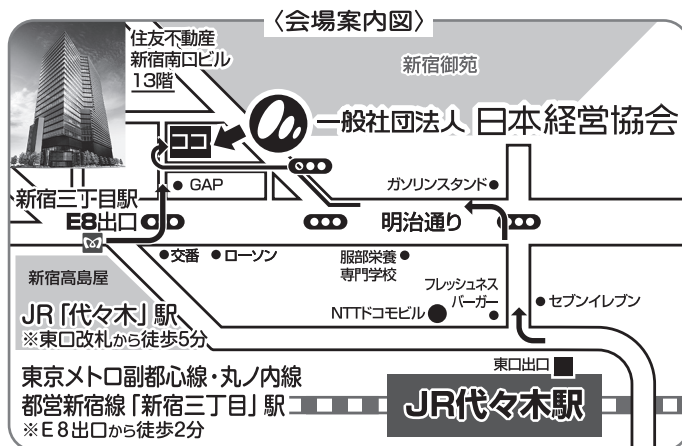
- ・オンライン参加の場合、セミナー実施3営業日前を目途に、ZOOM ID等をメールにてお知らせいたします。
- ・お申込みをいただいた参加者のみご受講をお願いします。お申込みをいただいていない方の配信閲覧は堅くお断りいたします。

お 申 込 み
お 問 合 せ 先



一般社団法人 日本経営協会

(お問合せは平日の月曜日～金曜日の9:15～17:15にお願いいたします)



本部事務局 企画研修グループ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-31-11

TEL (03) 6632-7139

E-mail: tks@noma.or.jp

URL <http://www.noma.or.jp>

▶ プログラム ◀

10月14日(火)
13:00
～
17:00

1. 【講義】公共施設マネジメントの視点から、地方自治体が「今、目の前のやるべきこと」と「これからやるべきこと」について考える
 - ①公共施設をどうするかを考える時の3つの視点：「財務」「品質」「行政サービスの提供」
 - ②公共施設マネジメントにおける「質」の解決に向けた取り組み手法（建築専門職ではない職員のためにも役立つことについて考える）
 - ③公共施設マネジメントにおける「量」の解決に向けた取り組み手法（実践例を通した解決プロセスについて考える）
 - ④アフターコロナ時代に求められる新たな発想と仕組みづくりについて考える
2. 【討議・ディスカッション】わが自治体における今後の取り組みについて
講義を聞いての疑問点等についての意見交換や、参加自治体による今後の取り組みに対する悩み等について、率直にディスカッションを行いたいと思います。（実践例を通した失敗談や裏話も含めてディスカッションを予定）

10月15日(水)
10:00
～
16:00

3. 【講義】公共施設マネジメントの手順
 - ①PACD→CAPDサイクルの実施：計画からではなく実態把握から検討を行う
 - ②情報なくしてマネジメントなし；情報の収集・分析だけではなくマネジメントに活用する
 - ③計画を実施するための連携体制づくり：どんなに良い計画があっても良い体制がないと実現しない
 - ④整備案策定の手順と方法：円滑に再整備を進めるための作業の整理
4. 【講義】公共施設マネジメントはまちづくり
 - ①施設整備の手段と目的：施設整備が目指すべき方向性を再確認する
 - ②協働作業の対象と範囲：エリアマネジメントからまちづくりへの展開
 - ③まちづくりの実践と課題：事例から見たまちづくりの障壁とその解決策
5. 【作業・ディスカッション】再整備の進め方を体感する
 - ①現状の把握と分析
 - ②現状の課題と体制の改善
 - ③整備案の検討と総括

講師紹介

池澤 龍三 (いけざわ りゅうぞう)氏

高知県高知市出身。千葉大学工学部建築学科卒業後、民間ゼネコン勤務を経て、平成2年に佐倉市役所入所。建築営繕業務、建築確認・指導業務、区画整理業務（住宅・都市整備公団派遣含む）、教育委員会業務等の職務に就く。平成24年資産管理経営室及び教育委員会教育総務課FM推進担当主幹となる。平成25年3月佐倉市役所を退職後、一般財団法人建築保全センターを経て、現在に至る。

一級建築士、認定ファシリティマネジャーの資格を有する。

現在、全国多くの地方自治体においてアドバイザー業務や職員研修会の実施、各種庁内検討委員会における委員として、公共施設マネジメントに携わる一方、前橋工科大学客員研究員としても具体的な公共施設マネジメントに関する論文、寄稿等の活動を実施している。著書に「公共施設マネジメントのススメ」「実践!公共施設マネジメント」等。

堤 洋樹 (つつみ ひろき)氏

前橋工科大学工学部建築学科准教授 博士(工学)。早稲田大学助手、北九州市立大学エンジニアリングアドバイザー、九州共立大学准教授を経て現在に至る。専門は建築経済、建築生産、建築構法。建物の長寿命化の実現に向け、ソフト・ハードの両面から研究を行う。総務省の経営・財務マネジメント強化事業、会津若松市、葛城市、港区、目黒区、台東区、群馬県建設技術センター等のアドバイザー、日本建築学会建築ストック経営小委員会主査等を兼任。また2022年度からは前橋市広瀬町で学生シェアハウスの運用による団地再生（LIFORT プロジェクト）を展開。著書に「公共施設のしまいかた」「実践!公共施設マネジメント」等。

※当日は最新の情報を反映する等、予告なく一部内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。

※令和6年度より、FAXでのお申込は廃止いたしました。

下記URLよりお申込みください。

<https://www.noma.or.jp/seminar/tabid/138/Default.aspx>

NOMA 講座

検索

NOMA
NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION